

# あら 荒川の水はどこからきてどこへ行くのかな

## 川の水はじゅんかんする水の一部

川の水は、海へ流れ出ますが、海にたまってしまふわけではありません。

海の水は、太陽の熱で蒸発し、水蒸気となって空にあがり、そして空の上で冷えて、小さな氷や水のつぶになります。このつぶが集まると雲になり、やがて雨となって地上に降ってきます。

地上に降った雨は、川や地下水となって陸地の低いところへ流れ、ふたたび海にそそぎこみます。このように、地球上の水は姿を変えながら、グルグル回っているのです。

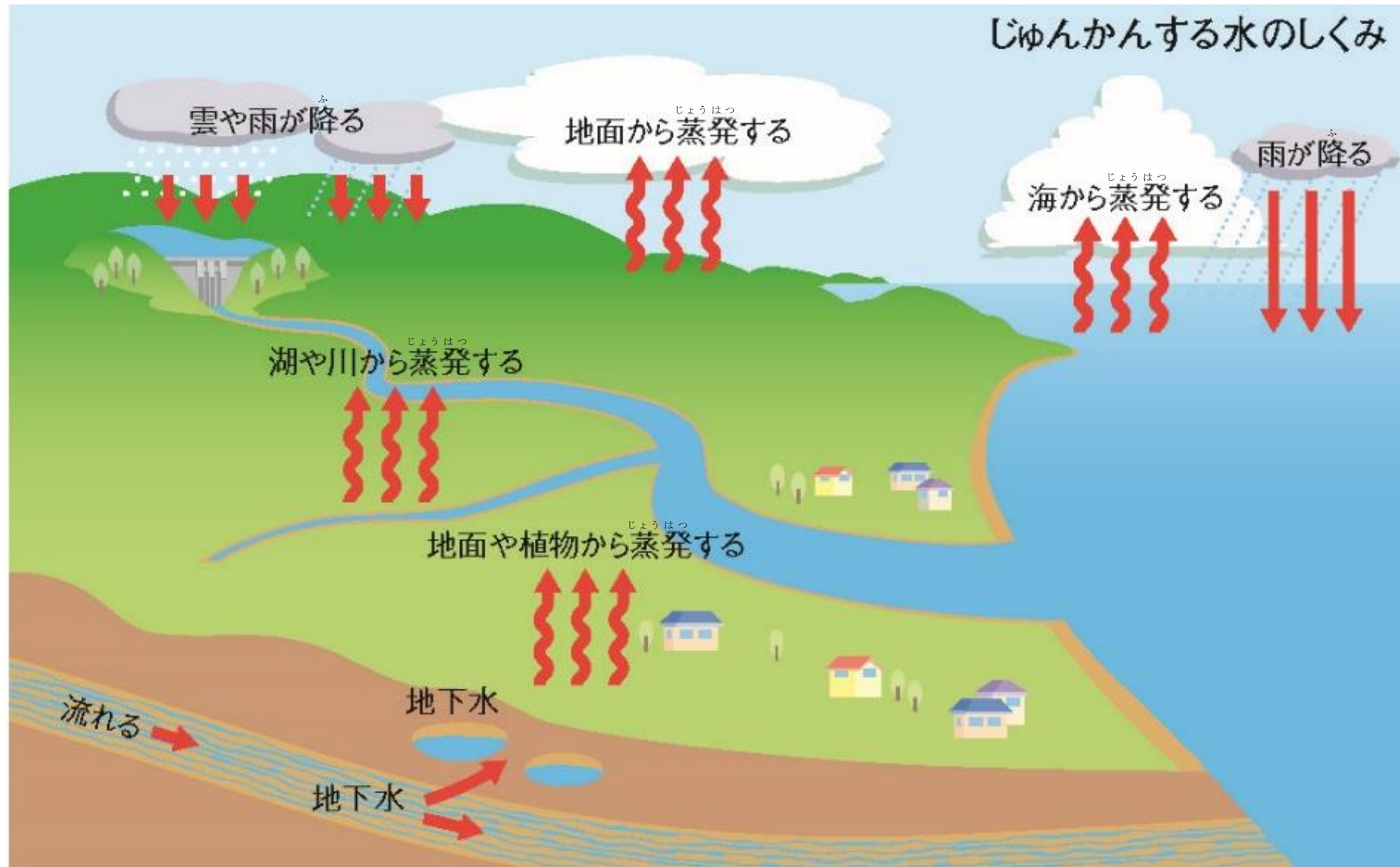
荒川の水も、下の図のようなしくみの一部として流れています。

## 水をたくわえる上流の森林

上流に降った雨の一部分は、地面の下にもぐりこみ、そして、少しずつしみ出し、やがて川に流れこみます。川に出るまで、長い時間がかかるのは、森林が、土のなかに水をたくわえるからです。この森林の働きが、雨水が急激に川に流れ出るのをふせぎ、雨の少ない時にも川に水をあたえることとなります。



荒川源流の森林

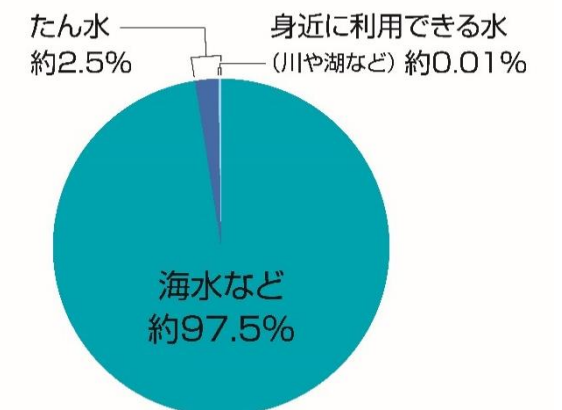


## じゅんかんする水のしくみ

### 川の豆知識

#### 水の星=地球で使える水の量は？

宇宙から地球を見ると、大部分が海、つまり水につつまれていることが分かります。たしかに、地球上に水はたくさんありますが、全体の約97.5%は海水で、たん水は残りの約2.5%です。しかも、そのほとんどが北極や南極の氷で、すぐに使える水は、全体のわずか0.01%ほどしかありません。



(出典: 環境省レポート)